

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスはあと		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PDCAサイクルで業務改善を行っている	質の向上に向けて、毎朝、前日の振り返りを行っています。改善策などを職員間で話し合い、翌日の計画や支援に活かしています	個々の成長段階や特性を共有し、職員間で統一した支援ができるように、コミュニケーションする時間を設け、先輩職員が助言を行っています
2	就労系障害福祉サービスが身近にある	就労移行(継続)支援事業所が身近にあり、支援スキルや道具等を共有することができ、就労支援の要素を取り入れたサービス提供をしています	・発達段階に応じて部屋や活動を分けて支援します。高学年のお子様には就労支援を取り入れたプログラムを実施します
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	フォーマル・アセスメントが定着していない	適応行動尺度(Vineland)や社会生活能力検査を基に行動観察してアセスメントしていますが、幅広い年齢を対象とした放課後等デイサービスとして、アセスメント内容が十分ではないと感じています	既存のアセスメントに加えて、ガイドラインで示されている『総合的な支援(5領域)』の視点をアセスメントや活動に取り入れて実践します
2	地域との交流が少なく、外出して活動する機会が少ない	地域へ外出する際は、通常に加えて人数配置が必要となる点や、公用車の確保や外出先の選定など、工夫しなければならないため、機会が限られているのが現状です	・地域の催し物などの情報を積極的に取り入れ参加して行きます ・散歩や行事訪問(勤労感謝の日等)など、通常の活動を通して、近隣住民の方との継続的な交流の機会を重ねて行きます
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						回収数	
放課後等デイサービス はあと		令和 8 年 3 月 1 日						30	23
		利用児童数				30		回収数 23	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2		1		●職員配置基準は満たしておりますが、個別対応が必要なお子さんに対し、多機能型を生かして充実した人員体制を整えていきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22			1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		2	長期休みの外出活動は同じ所が多いように感じます。できれば他の体験もさせてほしいと思います。	●令和7年度は新規5か所の外出活動を行いました。 ●今後もお子様を楽しみにしていただけるが活動を企画し、室内活動も充実できるように努めてまいります（調理、お仕事体験など）	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	6	2	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	8	1	4		●令和7年度は、スタッフ2名がペアレント・トレーニングのフォローアップ研修を受講しました。来年度以降、ペアレント・トレーニングの研修を開催できるよう努めます	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23						
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	9	1	4		●保護者会組織はありませんが、保護者の方も参加・交流できるような活動を企画して参ります（もちつき大会、拓心館まつりなど）		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	3				●ホームページ、広報誌による情報発信に努めます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2				●『個人情報利用同意書』に基づいて、適切に取り扱っております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	5		1		●緊急時対応と感染症対応については、契約時に説明しています ●様々な場面を想定した訓練を実施して参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					●今後も皆様からご意見をいただきながら、適切な運営をして参ります ●ひとり一人に応じた対応を心がけ、ご本人やご家族が安心して通って頂けるよう努めて参ります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8 年 3 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・複数の部屋を活用している	●スペースを有効に活用できるよう、床マットやパーテーション等を利用して視覚的に分かりやすい環境設定をしております。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・退職者の補充ができていない	●職員配置基準は満たしておりますが、個別対応が必要なお子さんが多いため、多機能型を生かして、より充実した人員体制を整えていきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			●スケジュールの提示など、視覚的に分かりやすい環境設定をしております
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日掃除を行っている	●感染症予防対策を講じており、掃除、消毒を徹底しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			●必要に応じて、パーテーションで仕切ったり個室へ移動する等、個別対応をする環境を整えています
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・毎日引き継ぎを行っている	●毎日の引継ぎや会議等で意見集約を図りながら、全スタッフ間のコミュニケーションを活発にしています
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			●モニタリングの面談を通して計画の進捗や今後に向けて情報共有しています
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎日引き継ぎを行っている	●毎日の引継ぎや会議等で意見集約を図りながら、全スタッフ間のコミュニケーションを活発に行い業務改善につなげています
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			●第三者評価は実施できておりませんが、毎年青森県による実地指導及び監査指導を受けており、改善に努めています
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		●法人の階層別研修やOJT研修の他、専門性・質の向上に向け、オンラインや外部研修等への参加を行っています
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・毎月の個別支援会議や面談内容をもとに作成している	●個別支援会議等で重点目標を共有し、個別支援計画を作成して支援しています
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・個別支援会議で共有している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			●アセスメントや保護者面談を通してお子さんの支援目標を立て、ガイドラインを参照しながら個別支援計画を作成して支援を行っています
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			●支援目標を共有し、それに沿った活動プログラムの立案を交代で行っています
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・毎朝の引き継ぎで情報共有している	●毎朝の引き継ぎをしっかりと行い、役割分担や送迎などを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・翌日朝の引継ぎで振り返りを行っている	●支援終了後は、必要最低限の情報共有を行い、翌朝の引継ぎで振り返りを行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・ケース記録を記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児発管だけでなく、必要に応じて現場スタッフも参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		●必要に応じて主治医に連絡したり、保護者を通して医療的ケアの情報共有を図っています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			●特別支援学校との情報共有は行っていますが、地域の学校とも情報共有を強化していきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		●弘前市委託事業等を通して、他の児童発達支援センターと連携しています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		●地域の中で交流する機会を増やせるよう努めています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		●弘前市委託事業や児童発達管理責任者連絡会を通して、自立支援協議会こども専門部会主催の会議に参加しています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		○連絡帳を通して伝えたり、必要に応じて電話連絡をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			●令和7年度は、スタッフ2名がペアレント・トレーニングのフォローアップ研修を受講しました。来年度以降、ペアレント・トレーニングの研修を主催する予定です
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			●契約時やモニタリングの面談時に、より丁寧に分かりやすい説明を心掛けて行っています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者会組織はありませんが、保護者の方も参加・交流できるような活動を企画して参ります（もちつき大会、拓心館まつりなど）</li> <li>●継続して、保護者同士が話し合える場や先輩保護者の方から話を聞く機会を設けていきます</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・スタッフ間で共有し、迅速かつ適切な対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		●ホームページ、広報誌による情報発信に努めます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・不要なものはシュレッターで破棄している	●スタッフ全員、共通認識を持って対応します
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		●勤労感謝の日等の行事を利用し、事業所周辺の地域の方々とは挨拶や交流に努めています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急時対応と感染症対応については、契約時に説明しています</li> <li>●様々な場面を想定した訓練を実施して参ります</li> </ul>
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・服薬の確認や酸素ボンベの取り扱いなど保護者に確認して行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な場面を想定した訓練を実施して参ります</li> <li>●安全計画の掲示等、ご家族への説明・周知に努めます</li> </ul>
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			●ヒヤリハット報告書の作成に加えて、その都度スタッフ間で状況確認を行い、毎月の会議でも共有をし対策をとっています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			●虐待防止のセルフチェックや内部研修を実施しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			●身体拘束に該当する事案はありません。様々な場面を想定し、万が一に備えて、保護者の方とのやり取り等を記録するよう心掛けています。	